

地中熱 中ざわ 熱わざ

湯沢町再生可能エネルギー 普及促進事業補金制度

2019年度 地中熱利用普及促進セミナー in 越後湯沢 資料

令和元年8月28日

湯沢町 産業観光部 環境農林課

1

『新潟県 南魚沼郡 湯沢町』



2



湯沢町の地勢
 湯沢町は新潟県の南端に位置し、信濃川最大の支流である魚野川の上流域であり、群馬県と接しています。「日本百名山」に数えられている谷川岳や苗場山などに囲まれた山間地帯で、町内の大部分は、上信越高原国立公園と魚沼連峰県立自然公園に指定されています。町の面積は357 km²です。東西21.4 kmで都心から167 kmに位置し、高速道路や新幹線などの道路網・鉄道網が充実しています。

「ありがとう湯沢の日」制定

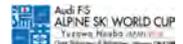


平成17年10月16日に観光立町宣言をし、それを記念して毎年10月16日を「ありがとう湯沢の日」と制定しました。おもてなしの心を持ち「ありがとう」の気持ちを発信していきます。

毎年12月上旬に東京都内にて「ありがとう湯沢感謝の集い」を開催し、町の観光についての報告・PRを行っています。



2016アルペンスキーW杯



【大会概要】

- 大会名称 (和) Audi FIS アルペンスキーワールドカップ2016 湯沢苗場大会
(英) Audi FIS Alpine Ski World Cup Yuzawa Naeba Japan 2016
- スケジュール
 [競技1日目]
 2月13日 (土曜) 男子大回転競技 (Giant-slamom)
 8:00 開場
 10:00 男子大回転1本目スタート
 11:30 1本目終了
 13:00 男子大回転2本目スタート
 14:00 2本目終了
 表彰式
 [競技2日目]
 2月14日 (日曜) 男子回転競技 (Slalom)
 8:00 開場
 10:00 男子回転1本目スタート
 11:30 1本目終了
 13:00 男子回転2本目スタート
 14:00 2本目終了
 表彰式
- 開催地 苗場スキー場 (〒949-6212 新潟県南魚沼郡湯沢町三国202)

- 主催・後援 公益財団法人全日本スキー連盟 (SAJ)
 公益財団法人新潟県スキー連盟
 湯沢町
 新潟県
 新潟県教育委員会
- 大会スポンサー
 ・ FISタイトルスポンサー：アウディ
 ・ FIS公式タイムキーパー：ロンジン
 ・ LOCスポンサー：株式会社NTTドコモ
 キリンビール株式会社
 株式会社プリンスホテル
 SGホールディングス株式会社
 読売新聞社
 東日本旅客鉄道株式会社
 株式会社クラブ
 白瀧酒造株式会社
 御幸毛織株式会社
 他109社
- 放送 NHK BS1にて生中継

【大会ほか来場者数】

- 2月11日 (木) ウェルカムパーティー 250人
- 2月12日 (金) ビブドロー (GS) 500人
- 2月13日 (土) 男子大回転競技 (Giant-slamom) 来場者数 5,289人
 スキー場 12,000人 (ワールドカップ以外)
 ※スキー場来場者数の30%程度の方がコース脇で観戦していたと思われるが、ワールドカップの来場者数には含めていない。
- 2月14日 (日) 男子回転競技 (Slalom) 来場者数 5,158人
 スキー場 10,000人 (ワールドカップ以外)
 ※スキー場来場者数の30%程度の方がコース脇で観戦していたと思われるが、ワールドカップの来場者数には含めていない。



基本目標3 若者が生活の場として選択するまち(重点目標)

【数値目標】 20-30歳代世帯(親子)の社会増減数:平成25年度 $\Delta 11$ 人 \rightarrow 平成31年度 +25人

【重点的な取組】

- 住宅・土地取得を支援します
KPI:U・I・Jターン世帯数
平成31年度までの5年間で13世帯
- 新幹線通勤を支援します
KPI:通勤支援件数
平成31年度までの5年間で6件
- ◎移住相談窓口を設置します
KPI:相談受付件数 20件/年



【主な実績】

- 28.8～ 湯沢町への移住促進のための住宅取得補助金
- 28.8～ 移住定住のための新幹線通勤補助金 (H30.7現在3名(Uターン))
- ◎28.8～ 移住定住相談フリーダイヤルの設置
企画政策課内に設置 0120-558-140

【関連推進事業】

- 求人情報の提供
湯沢の生活体験
冬期間の生活支援
克雪住まいづくり支援
U・Iターン促進住宅支援モデル事業
合同企業説明会の開催
KPI:U・I・Jターン世帯数
平成31年度までの5年間で13世帯
- 企業の地方拠点強化の促進
KPI:誘致件数 平成31年度までの5年間で1件
- ◎政府関係機関の地方移転
KPI:移転件数 平成31年度までの5年間で1件



【実績】

- 29.3 湯沢の生活体験
28.8、29.2、29.8、30.2 合同企業説明会

『新潟県 南魚沼郡 湯沢町』



H29.2-3 東京メトロ窓上



H30.3 京浜東北線、湘南新宿ライナー





三国街道の石畳

岩原高原のそば畑

大源太「カヤックツアー」

湯沢町再生可能エネルギー普及促進事業補助金制度

自然エネルギーの活用を支援します

再生可能エネルギーの活用を図り、地球温暖化対策及び低炭素・循環型社会を推進することを目的に、対象機器等を設置する方にその設置費用の一部を補助します。

新設（H30年度～）制度の特徴

- ☆ 平成30年度より様々な自然エネルギーを活用した機器の設置が対象になりました！
- ☆ ペレットストーブの補助上限が20万円となり、薪ストーブ（二次燃焼あり）も対象に！
- ☆ ご家庭や事務所のランニングコスト軽減に役立ちます！



利用区分	機器等の区分	機器等の要件 (区分ごとの要件をすべて満たすこと)
発電	太陽光	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光電池モジュールは、公正な第三者機関から認証を受けていること。 発電した電力を、全量自家消費するもの。又はその余剰電力を売電するもの 発電能力が最大出力10kw未満のもの
	風力	<ul style="list-style-type: none"> 発電した電力を、全量自家消費するもの。又はその余剰電力を売電するもの 発電能力が最大出力5kw未満のもの
	小水力	<ul style="list-style-type: none"> 発電した電力を、全量自家消費するもの。又はその余剰電力を売電するもの 発電能力が最大出力5kw未満のもの
	燃料電池	<ul style="list-style-type: none"> ガスから取り出した水素と空気中の酸素を反応させ発電し、その際に発生する熱を給湯に利用するもの
冷温熱利用	木質バイオマス	<ul style="list-style-type: none"> 木材又は植物に由来する再生可能な資源を燃料として使用する熱源機器であること。 ペレットストーブ以外のストーブにあっては二次燃焼機能を有していること。
	温度差熱	大気中の熱エネルギーを冷媒を用いて高温化し、その熱を給湯に利用するもの
	潜熱回収型	ガス給湯器の排熱を回収し、余熱等に利用するもの
	地中熱	<ul style="list-style-type: none"> 地中熱を利用しヒートポンプやヒートパイプで冷暖房・融雪・給湯等に利用するもの 地下水の採取がないもの
	雪氷熱	敷地内に設置し、冷房等に利用するもの
	太陽熱	屋根等に設置し、給湯等に利用するもの

9

対象者 (いずれにも該当する方)

- ① 町民または町内事業者
- ② 自己の住居用または自己の事業活動用の建物又は敷地に設置するもの(賃貸目的は不可)
- ③ 町税の滞納がないこと
- ④ 年度内に設置を完了できる者
- ⑤ 未使用の補助対象機器等を設置する者
- ⑥ 建物の使用者と所有者が異なる場合は、所有者から書面による承諾を得ている者
- ⑦ 今回の機器等の設置にあたり、湯沢町の他の補助金や助成金を受けていないこと
- ⑧ 申請をしようとする機器等が、過去において同一区分(機器等)の補助金の交付を受けたものでないこと

- 設置経費の3分の1
- 上限額20万円（千円未満切り捨て）
（区分ごとに1台を限度。複数台申請の場合は、異なる区分ごとに算定した補助金額の合計で30万円が上限。）



申請時期：随時受付。ただし、予算額に達するまで。

11

申請の手順

1. 施工業者へ相談。見積もりやカタログなどを取り寄せる。
↓
2. 補助金交付申請書を役場環境農林課へ提出。
（添付書類：位置図、工事前写真、見積書、カタログ）
↓
3. 工事が完了したら、施工業者へ代金を支払う。
↓
4. 補助金実績報告書 兼 補助金請求書を環境農林課へ提出。
（添付書類：領収書・内訳書の写し、設置状況を示す写真）
↓
5. 後日、町から申請者の指定口座へ補助金を振り込む。

12

事業実績

令和元年8月26日 現在

年度	件数	補助額 (円)	備考
H30	7件	1,286,000	木質バイオマス：2件 (326,000円) 温度差熱：5件 (960,000円)
R元	3件	516,000	木質バイオマス：1件 (116,000円) 温度差熱：1件 (200,000円) 温度差熱+地中熱：1件 (200,000円)

13

今後の方針

今後の方針

再生可能エネルギーの普及促進のため、広報等を活用したPR活動の継続、町民の意向に沿った制度の見直し及び需要に対応できる予算の確保に努力してまいります。

当初予算の推移

年度	当初予算額 (円)	備考
H30	1,000,000	予算補正 (12月)
R元	2,000,000	

ご清聴ありがとうございました。

14